

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 宮前教室 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い支援	臨床心理士、音楽療法士、保育士、教員免許所持者等様々な分野で活躍している有資格者が多く、専門的支援の実施も行っており高い評価を受けている。	専門的支援実施のご案内を定期的に行い、集団療育の中でも個別対応ができるとの周知をおこなう。
2	保護者様からの悩み、相談、関係機関との連携を迅速に行うことができる	保護者様から面談の希望があった際はすぐに日取りを調整し、担当職員が行っている。また、幼稚園、保育園、ほか事業所等との連携も定期的にあって支援の内容のすり合わせを行っている。	面談希望がない保護者へも面談可能なことをご案内する。加算に結びつける。
3	支援計画作成の際は支援者の意見ではなく、保護者の要望を中心に行なっている。	業務の効率化を図り過ぎると支援者ファーストになってしまふ。その点を常に配慮し、できる限り親御さんの意志をくみ取るようにしている。	保護者様の要望を取り入れた支援計画を作成し、職員へもミーティング等で共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経年劣化により備品等が古くなっている	定期的な見直しの実施と、買い替えが必要な備品の洗い出しができていない。	来年度4月までに美品を新調し環境整備を行う。
2	定期訓練の情報発信が不十分である	避難訓練等は定期的に行っているが、その様子が保護者様へ伝わっていない。	連絡帳に当日記載する。保護者面談の際に詳しく情報を共有する。
3	保護者会や、健常児と関わる機会のあるイベントの実施が認知されていない。	地域交流として夏祭りの開催をおこなっているが、保護者様へは行事の目的等具体的な説明をしてこなかった。	保護者会は半年に一回開催する。地域交流を目的としたイベントは保護者様へアプローチの仕方を変え、本来の目的をしっかり伝えていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 宮前教室 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様からの悩み、相談、関係機関との連携を迅速に行うことができる	保護者様から面談の希望があった際はすぐに日取りを調整し、担当職員が行っている。また、幼稚園、保育園、ほか事業所等との連携も定期的にあって支援の内容のすり合わせを行っている。	面談希望がない保護者へも面談可能なことをご案内する。加算に結びつける。
2	支援計画作成の際は支援者の意見ではなく、保護者の要望を中心にして作成している。	業務の効率化を図り過ぎると支援者ファーストになってしまふ。その点を常に配慮し、できる限り親御さんの意志をくみ取るようにしている。	保護者様の要望を取り入れた支援計画を作成し、職員へもミーティング等で共有する。
3	専門性の高い支援	臨床心理士、音楽療法士、保育士、教員免許所持者等様々な分野で活躍している有資格者が多く、専門的支援の実施も行っており高い評価を受けている。	専門的支援実施のご案内を定期的に行い、集団療育の中でも個別対応ができるとの周知をおこなう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期訓練の情報発信が不十分である	避難訓練等は定期的に行っているが、その様子が保護者様へ伝わっていない。	連絡帳に当日記載する。保護者面談の際に詳しく情報を共有する。
2	保護者会や、健常児と関わる機会のあるイベントの実施が認知されていない。	地域交流として夏祭りの開催をおこなっているが、保護者様へは行事の目的等具体的な説明をしてこなかった。	保護者会は半年に一回開催する。地域交流を目的としたイベントは保護者様へアプローチの仕方を変え、本来の目的をしっかりと伝えていく。
3	送迎車の数が限られており利用者全員の送迎が難しい	自主下校出来るほど成長され、教室近隣にお住まいの方へは自主下校、もしくは保護者様のお迎えをお願いしている。一部の保護者様からは引き続き送迎を続けてほしいと声をいただいている。	送迎車の台数を増やせないか会社で検討し保護者様へ今後の送迎の対応を返答する。